

## 第 12 班

1. タイトル：農村住民と都市住民の技・知恵の相互補完による農村の再生・活性化  
～やっぱ田舎っていいわ～

2. 報告書の概要：農業が営まれる農村は、食料を供給する役割を果たしていると同時に、水・緑・環境の保全等の多面的機能を発揮しているところでもある。しかし、現在の農業は安価な輸入農産物の流入に伴う農業生産額や農業所得の低迷等を背景として、農業者の減少・高齢化が深刻化し、農村においては、農業生産機能のみならず、集落機能の維持すら困難となっているところもある。このようなことから、小規模・高齢農家を中心とする農村を対象に、将来にわたり生産機能と集落機能を維持しつつ、少ない人数でも農村で生き生きと暮らせることを目的とした政策提言を行った。①集落の魅力の再発見（各集落における内発的取り組みの芽出し）。②「集落広域連携協議会」の組織化。③高齢者、女性の技・知恵の伝承。

3. 引用している事例：①頭石元気村丸ごと生活博物館（熊本県水俣市）②ふき活性化協議会（大分県豊後高田市）③稲沢地区地域づくり協議会（福島県本宮市）④小原地区活性化推進協議会（宮城県白石市）⑤農事組合法人やくらい土産センターさんちゃん会（宮城県加美町）⑥農林業センサス 2005（農林水産省）⑦農業構造動態調査報告書（農林水産省）⑧農村女性による起業活動実態調査報告書（農林水産省）⑨都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査（内閣府）等。

アンケート調査の有無：無